

令和6年度 看護学研究科博士後期課程 カリキュラムマップ

	ディプロマ・ポリシー ◎＝学修成果の修得のために特に重要な科目 ○＝学修成果の修得のために重要な科目		1. 看護の学識者としての責務を果たし、看護学の発展の基盤となる普遍性を有する看護哲学を追求し続ける能力を有している。	2. 看護学の学術的な基盤を発展させるために、グローバルスタンダードで看護学の知識や技術を研究開発し、看護学にイノベーションをもたらす能力を有している。	3. 最新の看護学の知識や技術、看護関連分野の知見等を活用し、倫理的・文化的基盤を持って人や社会に貢献するケアの開発に取り組み、人々の安心な生活の実現やQOLの向上を推進していくことのできる能力を有している。	4. 看護学を発展させ新たな知見を創生する研究活動を行い、社会に向けて提言できる能力を有している。	5. 国内外の専門職と連携して、政策開発や意思決定に参加し、健康医療福祉システムの構築や変革をもたらす能力を有している。	6. 科学的・学際的な基盤を持って人々の健康生活や健康文化を創造することに寄与する、次世代の高度実践看護者を養成する高等教育を担う能力を有している。
専攻共通 科目	理論看護学Ⅰ	必修	◎		○	○	◎	
	理論看護学Ⅱ		◎		○	○		○
	看護学研究方法Ⅰ	必修		◎		◎		
	看護学研究方法Ⅱ			○		◎		
	看護倫理学		○	○	◎			
	イノベーション看護学			◎	◎	○	○	
	国際看護学			◎		○	○	
	医学研究方法論			○		◎		○
	インディペンデントスタディ				○	◎		
	プロフェッショナルライティング			○		◎	○	
専攻専門 科目	共創看護学Ⅰ		○		◎		○	
	共創看護学Ⅱ			○		○		◎
	がん看護学Ⅰ		○		◎		○	
	がん看護学Ⅱ			○		○		◎
	成人看護学Ⅰ		○		◎		○	
	成人看護学Ⅱ			○		○		◎
	小児看護学Ⅰ		○		◎		○	
	小児看護学Ⅱ			○		○		◎
	老人看護学Ⅰ		○		◎		○	
	老人看護学Ⅱ			○		○		◎
	精神看護学Ⅰ		○		◎		○	
	精神看護学Ⅱ			○		○		◎
	家族看護学Ⅰ		○		◎		○	
	家族看護学Ⅱ			○		○		◎
	在宅看護学Ⅰ		○		◎		○	
	在宅看護学Ⅱ			○		○		◎
	地域看護学Ⅰ		○		◎		○	
	地域看護学Ⅱ			○		○		◎
	学校保健学Ⅰ		○		◎		○	
	学校保健学Ⅱ			○		○		◎
	災害・国際看護学Ⅰ		○		◎		○	
	災害・国際看護学Ⅱ			○		○		◎
	看護病態生理学Ⅰ		○		◎		○	
	看護病態生理学Ⅱ			○		○		◎
	看護経営管理学Ⅰ		○		◎		○	
	看護経営管理学Ⅱ			○		○		◎
研究支援 科目	看護学特別研究Ⅰ	必修	◎		○	○		
	看護学特別研究Ⅱ	必修			◎	○	○	
	看護学特別研究Ⅲ	必修		○		◎		◎